

函館北ロータリークラブ会報

2014~15年度 国際ロータリー テーマ

ロータリーに輝きを

2014~15年度 国際ロータリー会長 ゲイリー・C. K. ホアン

石橋輝夫 会長 テーマ “ゆっくりと、ほどほどに”

★会長 石橋輝夫 ★幹事 斎藤秀司



- ・例会場：ロワジールホテル函館 〒040-0063 函館市若松町14-10 TEL22-0111
- ・例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

《第2447回例会》第13号 10月8日(水)

本日のプログラム

- ・地区大会報告
- ・第1回函館北ロータリークラブ杯 少年野球大会について
大会実行委員会代表 松見 陽介 氏



10月1日 卓話
函館市国際水産・海洋都市推進室
次長 山崎 貴史 氏

2014~2015 <第2446回例会>

第12号 10月1日の記録

- ◎司 会 石橋 輝夫 会長
- ◎斉 唱 君が代、手に手つないで、四つのテスト
- ◎ビジター 函館五稜郭R.C. 朝倉 純一 君
函館五稜郭R.C. 能戸 彰 君
- ◎ゲ ス ト 函館市国際水産・海洋都市推進室
次長 山崎 貴史 氏

- ★誕生祝 藤田会員 (23日)
- ★結婚祝 渡部会員 (5日)、森 会員 (9日)
小笠原会員 (11日)、増田会員 (13日)
藤田会員 (26日)

- ◎会長報告 石橋 輝夫 会長
- 国際ロータリー ゲイリー・C. K. ホアン会長より
創立50周年のメッセージが届きました。
- 国際ロータリーより小笠原 孝会員へポール・ハリス・ソサエティの創立会員認証状が届きましたのでお渡しいたします。

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) とは

ロータリーの創始者、ポール・ハリスにちなんで名づけられたポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトに毎年1,000ドル以上をご支援くださる方を認証するためのプログラムです。

ご支援で実現できること

- ・南アフリカで、幼児教育センター設立のため、教員を集めた職業研修を実施
- ・インドで、フッ素中毒を防止するため、浄水フィルターと衛生設備を設置し、保健指導を実施
- ・イタリアで、未熟児の死亡率を下げるための研究奨学金を医療従事者に提供
- ・ウガンダで、教員200人と生徒1,300人を対象とした平和構築セミナーを開催
- ・マリで、マラリア予防のため防虫加工された蚊帳と医療サービスを提供

ロータリーは皆さまから託された大切なご寄付を、このような奉仕活動に活用しています。



◎委員会報告

○ロータリーの友委員会 弗田 和則 委員長

10月は職業奉仕月間で、P 8に第2630地区パストガバナー服部芳樹氏の職業奉仕について、永久保存版とでもいうべき文章が載っています。職業奉仕の定義についての考え方が紹介されています。縦組P 23に七飯RCの活動が写真付で掲載されています。

◎幹事報告 齋藤 秀司 幹事

- 第2・四半期会費納入のご案内をいたしましたので今月中にお払い込みくださいますようお願い致します。
- 和歌山城南RC、千葉港RCの会報が届きましたので回覧致します。
- 2014年1月から6月までにロータリー財団へ寄付いたしました税金控除の書類が届きましたのでメールボックスに入れてありますのでご確認ください。
- 例会終了後、理事会を開催致します。

◎親睦活動委員会 齋藤 秀司 委員長

ニコニコBOX投入報告

石橋会長（L判）

……先月のロータリーウィーク、洞爺丸慰霊碑清掃、そしてハーフマラソンに参加協力ありがとうございました。

森 会員・弗田会員・山下会員

……慰霊碑清掃とハーフマラソンお疲れ様でした。

中川会員・増田会員・増山会員・小笠原会員

松橋会員……月初めです。

藤田会員……誕生祝ありがとうございます。

南木会員……ハーフマラソンご協力ありがとうございました。

渡部会員……ひさしぶりの例会出席です。

松見会員……ハーフマラソンお疲れ様でした。齋藤さんお疲れ様でした。

深瀬会員……日曜午前診療のためハーフマラソンお手伝いできずすみません。本日協同募金の為早退します。

◎卓話「函館市国際水産・海洋総合研究センターについて」 山崎 貴史 氏

函館市国際水産・海洋総合研究センターの概要

・海からはじまる新しいまちづくり

函館は、豊富な水産資源と水産・海洋分野の優れた学術研究機関や関連産業が集まる街です。こうした地域の優位性をより高めようと平成15年に生まれたのが「函館国際水産・海洋都市構想」です。めざしているのは、国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市。産学官が連携してマリンサイエンス分野で世界をリードする研究成果や革新技術を生み出し、雇用の創出と産業経済の活性化に結びつけるのがねらいです。

・函館市国際水産・海洋総合研究センターとは

「函館市国際水産・海洋総合研究センター」は、入居型の貸研究施設として、学術試験研究機関や民間企業が一堂に入居できる研究室を備えているほか、隣接する岸壁には調査研究船が直接接岸でき、また、函館港外から直接採取した海水を水槽実験に使用することができるなど、水産・海洋分野の研究開発支援や産学官連携を促進するための施設です。さらに、来館者も自由に見学できる大型の実験水槽や函館港が一望できる展望ロビー、海水を使用できる実習室や学会の開催などを想定した会議室なども備えており、函館国際水産・海洋都市構想のシンボルとしての役割を担います。



大型実験水槽

幅約10m、奥行き5m、深さ6m、容量約300トンの水槽。

（会報担当者：森 秀樹 委員）

80年の伝統・実績・信用を誇る

火災共済 **山敷火災相互会**

会長 増田 定雄

〒040-0061 函館市海岸町8-9

TEL (0138) 41-1730 FAX (0138) 40-6406

（広告掲載：増田 定雄 会員）

◎9月17日出席報告（小河 博保 委員長）

会員	21名	出席率対象会員	21名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	16名	当日欠席	5名
他クラブ出席	4名	出席合計	20名
出席率		95.24%	

次回のプログラム

平成26年10月15日(水)

外部卓話

函館市地域交流まちづくりセンター
センター長 丸藤 競 氏

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番